

◇干潟の授業（座学）と干潟観察会を開催しました

平成25年10月17日 泡瀬干潟にて、沖縄市立教育研究所の12名の子供たちと4名の職員と、干潟観察会を開催しました。当日は、教育研究所にて、干潟についての授業を行い、その後、皆で泡瀬干潟へと車で移動し、干潟観察を行いました。今回は、前にも一緒に散策した干潟の自然に詳しい先生1名を講師としてお招きしました。教育研究所の室内の座学では、まず簡易な実験として、二枚貝（泡瀬産）を用いた海水の浄化実験を実施しました。干潟では、ヤドカリの仲間や様々な貝の仲間、ユムシ、種々のカニの仲間、魚の仲間が観察できました。子供たちは、夢中で生き物探しをしていました。中でも、ナマコは、恐れず、果敢に手に取って触れ合っていました。観察した生き物たちは、その場にやさしく放し、観察の際には、岩の下を見たら元の位置に戻すなど、生き物の家（棲家）ということ意識して、「おじゃまします」という精神でのぞみました。干潟観察が終わって、再度、教育研究所に戻り、実験の結果を皆で確認しました。貝の動きで、汚れた海水がきれいになっているのが分かりました。

<p><b>室内</b></p>  <p>海水浄化実験（仕込み）の様子</p>	<p>仕込み直後</p>  <p>海水＋コーヒーミルク＋二枚貝</p>	<p>約3時間30分後</p>  <p>海水浄化実験結果発表</p>
---	---	---

<p><b>野外</b></p>  <p>雨水幹線を観察（堤防から）</p>	 <p>雨水幹線を観察（フェンスから）</p>	 <p>前の浜から干潟に入る</p>
---	--	--

 <p>砂礫質の観察</p>	 <p>ユムシの観察</p>	 <p>石裏の観察</p>
--	--	--

 <p>タマガイ（這い痕）の観察</p>	 <p>ミナミベニツケガニ</p>	 <p>砂質での足踏み体験</p>
--	---	--